

愛・地球博 理念継承エリア検討委員会
第2回委員会 参考資料

参考-1 2 - 1 公園全体計画と「アイデアのひろば」の位置づけ 1
参考-2 2 - 2 博覧会の理念と成果の継承..... 2
参考-3 2 - 3 類似施設の事例紹介 - 1・2・3・4 3

2 - 1 公園全体計画と「アイデアのひろば」の位置づけ

愛知青少年公園計画策定において、公園の整備・活用の方針、ゾーニング及び各エリアの性格・利用イメージを設定した。「博覧会の理念と成果の継承の場」として性格づけた「アイデアのひろば」では、「博覧会を記念する展示施設」「博覧会記念樹の森」「博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン」を位置付ける。

整備・活用の目標

新しい公園は、健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長・進化し続ける21世紀型の公園～サスティナブル・パーク～を目指す。
サスティナブル・パークでは、人々は広大なフィールドに身を置いて心と身体を開放し、楽しさを体感しながら、家族、仲間、地域、自然、環境などとの関係を再構築し、より良い関係を維持していく。そして、それは自分らしい生き方を大切に、豊かさを実感できる県民生活実現への取り組みとなるものである。

整備・活用の柱

- * 楽しく利用、親しまれ、安心安全な暮らしを守り育てる公園
- * 環境との共生を学び、日常生活につなげる公園
- * 県民参加と多様な交流で成長する公園

ゾーニング



各エリアの性格

エリアの名称	各エリアの性格
みんなのひろば	水と緑の中での多様な交流
こどものひろば	子どもの遊び・体験・レクリエーション
健康スポーツひろば	健康づくりスポーツを家族や仲間と楽しむ
北エントランスひろば 西エントランスひろば	エントランス
アイデアのひろば	博覧会の理念と成果の継承
林床花園	四季折々の樹林風景を楽しむ
日本庭園	伝統文化とのふれあい
親林楽園	自然学習野外活動
南部樹林地	緑地保全

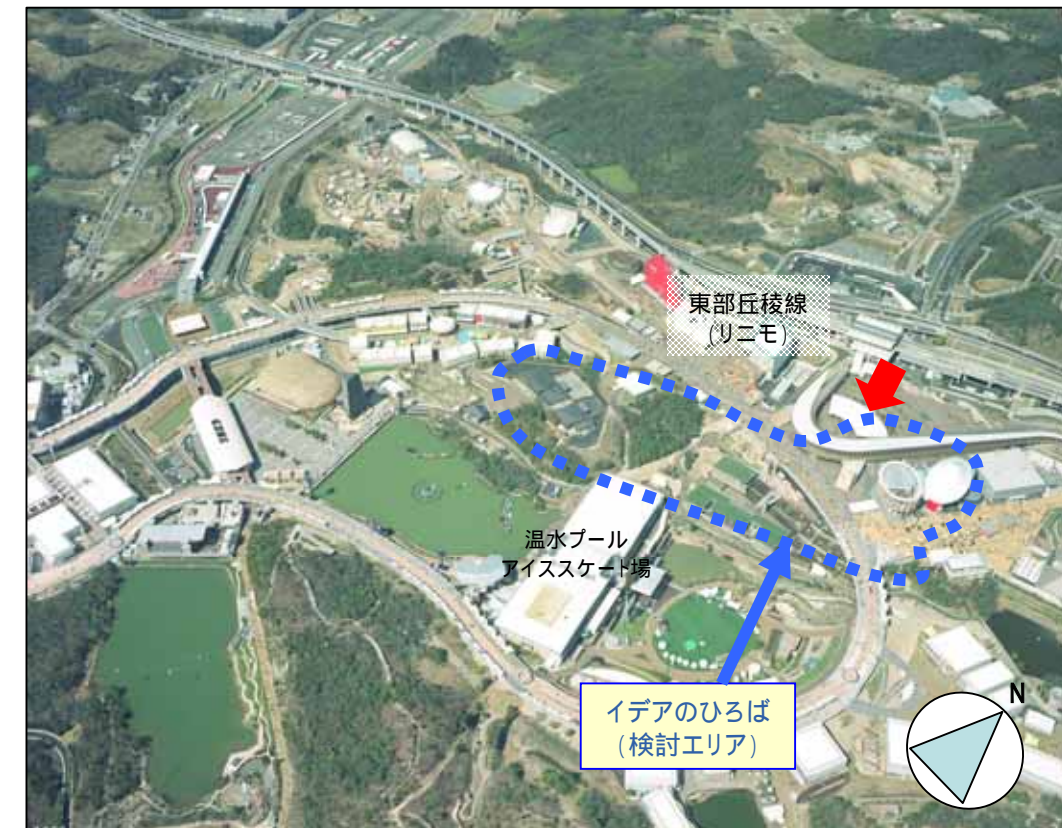
アイデアのひろばの展開の方向

- 1) 博覧会を記念する展示施設
【場所】 迎賓館・レセプションホール 【内容】 博覧会参加国から贈呈された記念品等の展示
- 2) 博覧会記念樹の森
【場所】 ロータリー館跡地 【内容】 博覧会参加国による植樹セレモニ - の記念樹を移植
- 3) 博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン
【場所】 「アイデアのひろば」の東側「テーマゾーン」

検討エリア



航空写真 (2005年3月撮影)



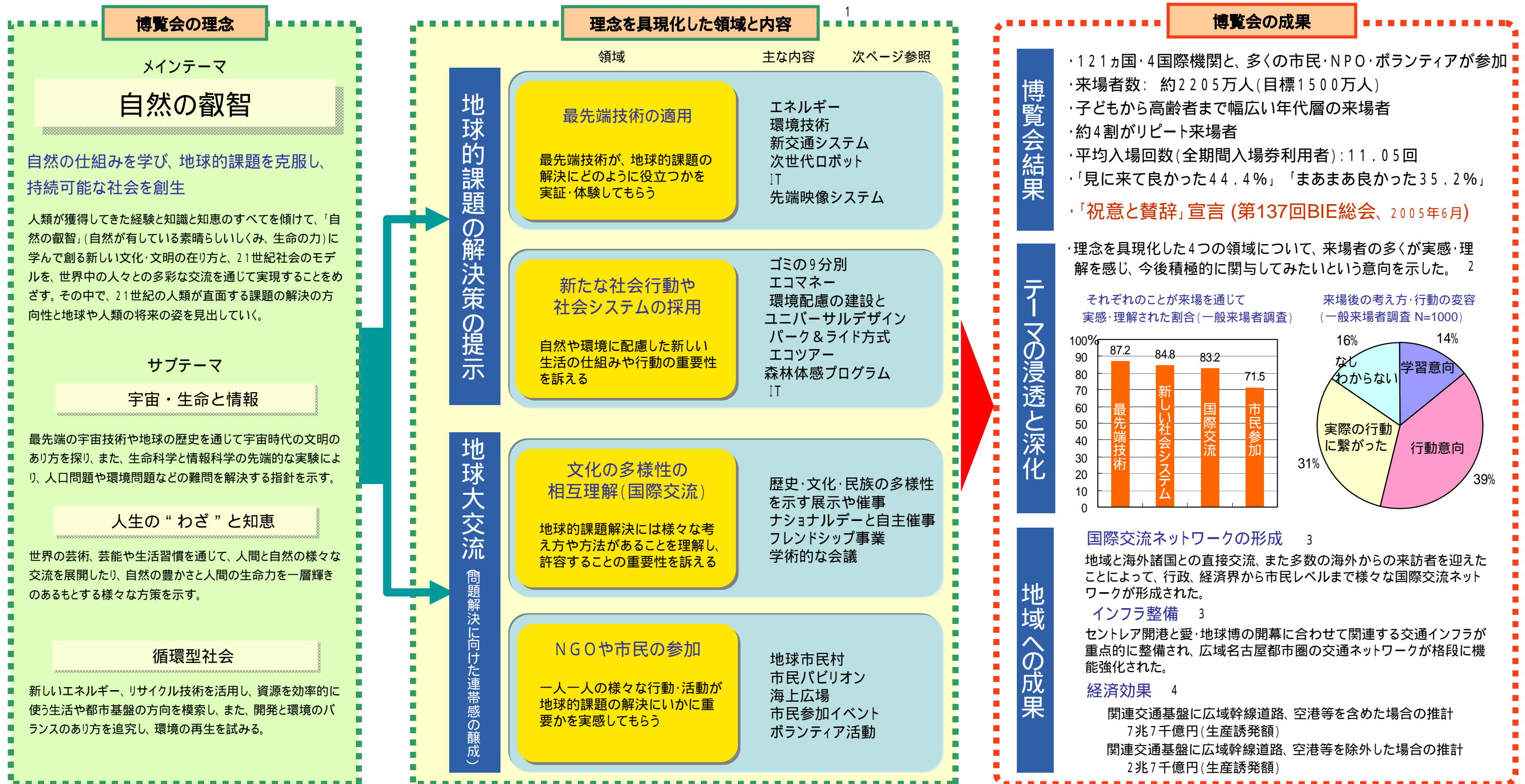
2 - 2 博覧会の理念と成果の継承 ~ 博覧会が生み出したもの ~

「愛・地球博」は、21世紀の新しい社会のモデルになる文明の創造と新しい文化の提案として「自然の叡智」をテーマに、人類が直面している地球的課題を克服し、持続的成長が可能な人類と自然が共生できる社会の方向を様々な方法で展開した。

博覧会には多くの国々や国際機関の他、市民・NGO/NPO・ボランティアなどが参画し、テーマの具現化と深化を行った。それらの展示や催事を通じて、来場者の多くがテーマに理解・共感を示し、考え方や行動にも大きな影響を受けた。

開催の成果としては、国際博覧会として世界から高い評価を受けるとともに、来場者数は当初計画を大きく上回る2,205万人を達成した。その8割(来場者WEB調査)から「良かった」という積極的な評価が得られた。

地域社会に対しても、国際交流ネットワーク形成、インフラ整備、経済波及効果などの面で大きな成果を残した。



1 2005年日本国際博覧会「愛・地球博」のご報告(H17.10.20 財団法人2005年日本国際博覧会協会)および博覧会協会インターネット発表資料等より作成

2 (財)2005年日本国際博覧会協会「テーマの理解度・浸透度アンケート調査」(平成17年10月)の結果
3 「魅力と活力溢れる中部の実現」(平成17年9月)社団法人中部経済連合会
4 「愛・地球博の経済効果に関する評価(概要書)」(平成17年11月)株式会社総合研究所

2 - 3 類似施設の事例紹介 - 1

1. 公園内の一部区域でテーマ展開した事例

類似ゾーン等	みどりの文化ゾーン
公園名	国営昭和記念公園(東京都立川市)
種別	都市公園(国営公園)
面積	8.6ha(みどりの文化ゾーン1次供用面積)
総工事費	約56億円 (みどりの文化ゾーン1次供用部分うち約33億円は花みどりセンター・昭和天皇記念館)
ゾーン等の概要	花みどり文化センター、昭和天皇記念館、ゆめひろば、そよぎの丘、浮遊の庭など。
ゾーンの内容	様々な「緑の文化」に関連する行事などの会場として、市民の方々や研修事業者の交流拠点となっている。
維持管理	財団法人 公園緑地管理財団 昭和天皇記念館は、財団法人 昭和聖徳記念財団
主な施設の内容	花みどりセンター・昭和天皇記念館 花みどりセンターは、緑とふれあい、緑を学ぶなど、緑の文化に関する体験、交流、情報、発信等の集積したメイン施設。 昭和天皇記念館は、緑の文化の発展に貢献した人々に関する展示を通じて「緑の文化」の多様な姿を紹介。 【施設内容】 図書コーナー、ギャラリー1~5、情報コーナー、研修室、テラス・展示。 【建築規模】(含む昭和天皇記念館) 建築面積 5,480.24㎡(延べ床面積 6,031.64㎡)



類似ゾーン等	空の景ゾーン
公園名	アイランドシティ中央公園(福岡市東区)
種別	都市公園(総合公園)
面積	約2.5ha(空の景ゾーン)
総工事費	ゾーン全体では不明(ぐりんぐりん16億4,000万円うち屋上緑化・室内展示約2億円)
ゾーン等の概要	ぐりんぐりん、修景緑地など。
ゾーンの内容	建物自体が花壇や散策路と備え、周辺修景緑地と一体となっており、花と緑と親しむことができるプロムナード空間
維持管理	指定管理者制度(来年度から募集)
主な施設の内容	ぐりんぐりん 展示温室や学習施設、ワークショップのスペースなど拠点施設となる。 なお、第22回全国都市緑化フェアのアイランド花どんたくの中心的な役割を担うメイン施設であり、「花・緑のめぐみ」をテーマとした多角的な企画展が開催。 【施設内容】 展示温室・ワークショップコーナー・緑の相談コーナー・レストスペース・グリーンギャラリーなど。 【施設規模】 建築面積5,162.07㎡(延べ面積5,033.47㎡)



2 - 3 類似施設の事例紹介 - 2

類似ゾーン等	木曽川水園
公園名	河川環境楽園(岐阜県各務原市)
種別	都市公園(国営公園)
面積	32.6ha
総工事費	約75億円
ゾーン等の概要	木曽川水園、自然発見館(529㎡)、河の森、川原広場、農家(96㎡)
ゾーンの内容	木曽川が育んだ川の自然や風土・文化を遊びながら学ぶことのできる参加型の公園。 川の自然・文化を知る場とする 水辺・河原で遊び、楽しむ場とする 自然及び田園景観を基調とした環境を創出する
維持管理	財団法人 公園緑地管理財団、財団法人 河川環境財団
主な施設の内容	木曽川水園 木曽川の情景をモチーフに川の自然に触れながら、遊びが楽しめる場。水遊び、船遊びなどの参加体験型の施設。 自然発見館 自然発見館では、川の自然環境や生態が学習できるように工夫された4つの工房から構成された施設。 【施設内容】 体験工房、実験工房、創作工房、お天気工房、発見工房など。



木曽川水園(上流)



木曽川水園(下流)

類似ゾーン等	養老天命反転地
公園名	養老公園(岐阜県養老郡養老町)
種別	都市公園(広域公園)
面積	1.8 ha(養老天命反転地・天命反転地館)
総工事費	約14億円(養老天命反転地:11億7,000万円・養老天命反天地館:2億1,000万円)
ゾーン等の概要	養老天命反転地、天命反転地館など。
ゾーンの内容	養老天命反転地は、現代美術家の荒川修作とパートナーで詩人のマドリン・ギンズのプロジェクトを実現したテーマパーク。
維持管理	養老公園事務所から指定管理者に委託。
主な施設の内容	養老天命反転地 予想もつかない景色や懐かしい風景などを体験できる屋外空間 「極限で似るものの家」(岐阜県の形をした屋根を持つ迷路状の建物)、「楕円形のフィールド」等。 養老天命反転地記念館(478.9㎡) 傾斜した床、床を反転させた天井、家具として機能する壁など、建築と身体との関係を変える実験的な建築物。作者の作品や制作過程映像等を展示。

施設配置図



極限で似るものの家



養老天命反転地 - 1



養老天命反転地 - 2

2 - 3 類似施設の事例紹介 - 3

類似ゾーン等	草原の国
公園名	富士山こどもの国(静岡県富士市)
種別	都市公園(広域公園)
面積	48ha
総工事費	草原の国単位では不明 (一次供用区域 約143億円うち建設費34億7,700万円、広場・植栽工事費95億2,800万円、調査計画費12億4,400万円)
ゾーン等の概要	草原の家、パオ集落、オートキャンプ場、草原のレストハウス、草原の迷宮、爆発火口など
ゾーンの内容	人と自然との暮らしをテーマに、雄大なスケールの富士山をバックとして広々とした草原の中で、宿泊体験や畑を耕すことなど自然と生物との関係を学ぶことのできるゾーン。
維持管理	財団法人 静岡県総合管理公社から指定管理者に委託。
主な施設の内容	草原の家(インフォメーション、受付、休憩所、シャワー、トイレ) パオ集落(モンゴルの遊牧民族の住居を模した常設テント棟(大小16棟)、炊事棟、トイレ) 草原の迷宮、爆発火口等(溶岩を活用した探検空間、遊歩道、遊具)



草原の国
水の国
地の国
森の国
山の国
街

1次供用面積94.5ha



爆発火口



草原の迷宮



草原の家



パオ集落



溶岩谷の遊び場

2. 公園全体でテーマ展開した事例

類似ゾーン等	十勝エコロジープーク(道立公園)
公園名	十勝エコロジープーク(北海道河東郡音更町)
種別	都市公園(広域公園)
面積	141ha(河川水面等を含む全体面積409.8ha)
総工事費	約51億円(うちビジターセンター6億2,900万円、土のフォーリー5,990万円、コテージゾーン1億0,670万円)
ゾーン等の概要	育成の森、ヤナギの森、ハルニレ・ヤチダモの森、ドロヤナギ・ケショウヤナギの森、カシワの森、ピクニック広場、キャンプ場、ビジターセンターなど。
ゾーンの内容	エリア1は、小河川を中心として新たな自然環境の創出を図る場として機能している。 エリア2は、本公園の拠点として必要な機能を展開し、自然と親しむことのできる場としている。
維持管理	公園の維持管理は、財団法人 十勝エコロジープーク財団に委託。
主な施設の内容	ビジターセンター(延べ面積1,276.85㎡) 土のフォーリー(延べ面積228.6㎡) コテージ小(3棟)、コテージ中(3棟)、コテージ大(1棟)。

施設配置図



141ha(道立公園)



ビジターセンター(管理施設等)



プロジェクトハウス(市民参加の拠点施設)



土のフォーリー(実験室)

2 - 3 類似施設の事例紹介 - 4

施設名	名古屋港イタリア村
場所	名古屋市港区港町
種別	商業施設
面積	約3 ha
総工事費	約87億円
施設の概要	大型商業施設(ファッション街・レストラン街)、ヴェネチアンガラス美術館、
テーマの内容	名古屋港地区にイタリアをテーマとした街並みを形成したエンターテインメント性あふれる商業施設となっている。
維持管理	名古屋港イタリア村株式会社 PFI事業(セラヴィリゾートグループ)
主な施設の内容	【施設内容】 物販店53店舗、飲食店10店舗、ゴンドラ、ヴェネチアンガラス美術館など。 【施設規模】 延べ面積30,451㎡



施設配置図

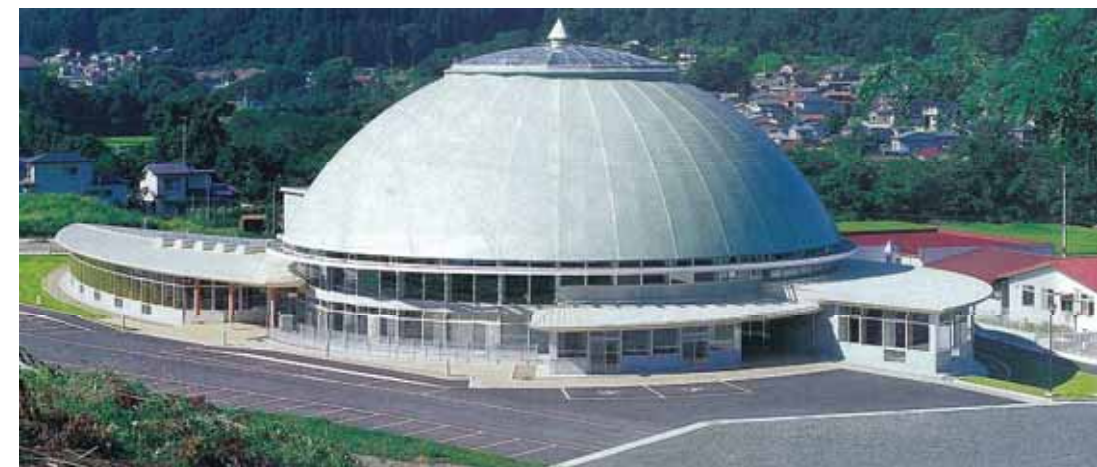


ゴンドラ乗り場



イタリア村の景観

施設名	一戸町コミュニティセンター
場所	岩手県二戸郡一戸町
種別	-
敷地面積	約7,540㎡
建設費	約8億4,000万円
テーマの内容	町民のレクリエーションの場
維持管理	一戸町教育委員会(展示はNPOにて実施)
主な施設の内容	コミュニティセンター 【施設内容】 多目的ホール、ステージ、会議室、展示ギャラリー、図書館 【施設規模】 建築面積2,842.19㎡ 延べ面積2689.78㎡



コミュニティセンター施設の外観



屋根部の構造(集成材:カラマツ)



地元産のカラマツ材を使用。

